

EVENT 104 MARKETING

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 4F-A
TEL03-6721-5303 sofufu@event-marketing.co.jp

特集 空間デザインの分岐点



特別企画
産業の付加価値を向上させる
展示会高度化
RX Japan (株) 田中 岳志さん

TAKE FREE www.event-marketing.co.jp

ドーナツの穴だけ残して食べる



写真提供：株式会社シムディレクト

この仕事をしていて絵が下手というのは、大きなハンデだ。自分でイラストを描くまではいなくても「こんな感じで」とスラスラと図解で説明できたら、立派な編集者になれたのでは、と夢想する。そんなワタクシの亡父は実はデザイナーをしていて、イラストを描いたり、本の表紙を担当したりしていたので、画力は遺伝しないものだとか。DNA の動きは

ともかく、デザインといえば絵を描くこと、それ以外に答えはなかった。

固定概念を覆したのは、2007 年のグッドデザイン大賞に選ばれたエネルギー関連製品だった。電池だから形は変えようがないし、白地に青で製品名が書いてあるだけ。充電器と見た目はなんの変哲もない感じだ。資料を読んでもみると、評価されたのはコンセプトとか環

境についての考え方など。見た目のカッコよさより、使いやすさ・分かりやすさ・親切さなど、ユーザーへの配慮などが重視されているから、という解説があって、納得した。

見た目のこと以外をデザインと呼ぶのは、とても知的に感じたものだ。ちょうどアメフト観戦をはじめたこともあり「いまのランはデザインされたプレーだな」などと、“デザイン”の

守備範囲をふやし、多用したりした。

今回の特集のようにデザインの前に空間がつくとさらに奥が深い。周りの造形をつくっているようにみえて、実はモノとモノの間隙の何もないところを、どうすればいいのかを考えている。空間デザインは哲学だ。この写真の空間を創造したデザイナー然り、今回は多くの哲学者の話も聞いた。（編集部・田中カ

オンラインでも オフラインでも、
**ビジネスイベントのお悩みは
イベントレジストにお任せください!**

EventRegist イベントレジスト株式会社
<https://eventregist.com>

資料請求・お問い合わせ
contact@eventregist.com

申込受付を統合管理

- ・ウェブ事前受付、オンライン決済
- ・イベントへのスマートチェックイン
- ・動画、ライブ配信の申込者のみの視聴制御

ワンストップで対応可能

- ・企画 ・会場手配 ・デザイン / 施工
- ・運営進行 ・撮影 / 映像 / ライブ配信
- ・申込サイト制作

ビジネスイベントの実績多数

- ・カンファレンス ・セミナー ・展示会
- ・ウェビナー ・オンラインイベントなど

特集

空間デザインの分岐点

イベント需要が急速に高まり、その空間づくりにおいて高い体験価値、没入感、SDGs、新しい機材など、付加価値の高いデザインが求められるようになった。空間デザインを手がける各社の最新の取組みを紹介する。また、業界の人材不足により急務となった、人材育成についてもまとめる。

デフレからの脱却と高付加価値化求められる空間づくりの革新

日経平均株価が、バブル絶頂期の史上最高値を更新。金融緩和、円安などの好材料から、今後も好景気が期待される。イベントについても、パンデミック前の水準を超える状況だ。

日本イベント産業振興協会の調査では、2022年のイベント関連産業のイベント及び周辺産業の規模は2兆804億円で、2019年と比較して、約8割まで回復した。またCEIRによると、今年の世界主要19展示会市場の規模は2019年比107%となる見込みだ。

オンラインイベント・ウェビナーが一般化したこともあり、リアルイベントは人を集めるだけではなく、体験の質、没入感、快適性が重要視される傾向だ。イベント産業もデフレを脱却し、高付加価値を目指す時期に入った。

高い体験価値を生み出すためのデザイン手法、没入感を高めるための空間構成、快適性を保ちつつ環境に配慮した素材の選定、SDGsに沿った持続可能なイベント運営、などについては本特集の事例でご紹介する。

空間デザインをビジネス機会創出の視点で解説し、スペック情報で得られない、見えない価値を明らかにしていくことが肝要だ。

事例1



3Dプリンターと木工の良さ組合せデザインの幅と環境配慮への挑戦

「JAPAN SHOP2024」昭栄美術ブース



株式会社昭栄美術 サステナブル推進メンバー
須藤真美さん(左) 富永希さん(右)

木工部材を再利用するユニプラン、ISO20121取得など、これまで昭栄美術はSDGsの先進的な取組みを進めてきた。

さらに、同社は廃材を自社で粉砕、材料化、装飾部材として再利用し、アップサイクルの比率を高める「循環型ディスプレイ」モデルを提唱、実施する。廃材の粉砕機、熱で溶かす押出成形機、冷却ネットコンベアー、カットするペレタイザー、3Dプリンターによる造形と、自社工場で全行程を行う。

JAPAN SHOPでは最大3mx3mx3mまで造形できる超大型ペレット式3Dプリンターで製作した格子状の壁面装飾で存在感を出す。

木工の造作物も廃材を圧縮したOSB合板、持続可能な森の活用・保護のもと管理された

FSC認証を取得した木材を使用。日本の展示会装飾では昭栄美術が先がけて導入する。

細かい加工や切り抜き、立体的なねじれがある造作は得意な3Dプリンターだが、完全な直線を製作することが苦手で、バリや強度の問題も残っているため、現段階ではどんなものでもつくれるわけではない。木工と3D造作の双方の良さを組み合わせ、デザインの幅を出しつつ、環境に配慮していく空間づくり、それが昭栄美術の須藤真美さん、富永希さんの現在の取組みだ。

今回の出展を通じて、環境配慮への関心高い出展企業との出会い、取組みに賛同するパートナー探し、そして社会全体の環境配慮への機運の醸成を目指す。

昭栄は、まわす。
資源は、まわる。

昭栄美術は2024年
一歩新しい未来を創るための
取組みを進めてまいります

2024年3月 JAPAN SHOP 出展決定

SHOEI
THINK YOUR VISION

東京本社
〒104-0044
東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー25F
TEL/03-5148-6651



エアバレス



すべて

仮設のチカラ

で実現できます

- ・楽しい空間作り
- ・仕事帰りにふらりと憩いの空間
- ・週末に家族で楽しめる場所
- ・遊休地の活用 etc...

NISHIO

事例2

ゴールは没入感ではなく空間にどんな価値をつけるか

「イベントJAPAN2023」「SCビジネスフェア2024」シムディレクトブース

空間全面を映像で囲み、多チャンネルの音響で臨場感を出すことが、イマーシブ空間と捉えがちだ。しかしシムディレクトの志満津勇馬さんは「映像や音響で没入感を出すことがゴールではなく、空間自体にどのような価値をつけるか。来た人に何をもって帰ってもらうか、ということが体験デザイン」と話す。

世界観に浸る、感動する、楽しむ、あるいはビジネスシーンでも、理解度を高める、ブランド価値を高める、そうした目的のために、没入感と非日常の時間軸、空間軸のなかでバランスよく配置していく。

イベントJAPAN 2023 では、1 方向がオープンなブース、SC ビジネスフェアでは密閉したシアター形式の空間で展開した「Harmonyin the Forest- Deeply

Immersive -」。プロジェクターの映像と、21.2 チャンネル（SC ビジネスフェアでは30.2 チャンネル）のイマーシブサウンド、インタラクティブアクション、風、香り、本物の植物やキャンプファイヤーなどの装飾で世界観を演出。演奏家の動きに合わせて、笛の音色が出る場所が変わるなど、各要素の調和が生み出す森の音楽会という世界観に人を引き込む。途中でシーンが変わり抽象的な世界観をイメージしたグラフィカルな映像に切り替わる。没入感と非日常で、最終的に驚きや感動、楽しい思い出をつくるコンテンツに昇華している。

イマーシブや新しい技術はあくまでツールとして、空間全体で体験設計をするのが志満津さんの世界観のつくりかただ。

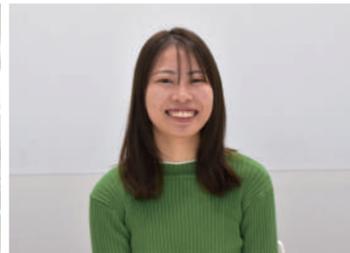


株式会社シムディレクト 株式会社SWAG
ディレクター
志満津 勇馬さん

事例3

図面を立ち上げると新しいアイデアと検証が

「イベントJAPAN2023」西尾レントオールブース



西尾レントオール株式会社
RA東日本営業部 東日本制作課
手塚 史音さん

ブースのコンセプトは「スタッフ以外はすべて商材」。イベントレンタルの西尾レントオールの豊富な機材ラインナップを体現するブースとなった。2階建て対応可能な「オクタMAX」、天吊り・檜での高強度を生かした装飾用部材「オクタリグ」など、構造を隠さず見せることで、部材の活用事例を見ながら商談できるようにした。

手塚史音さんがこのブースで担当したのは、パネル展示。白文字の説明文が読みやすくなる写真選定やレイアウトを工夫し、各アイテムを色で分けつつ、統一感を出すように紫系でまとめた配色は試行錯誤の結果だ。

ブースデザインはクライアントワークである以上、ヒアリングは重要。顧客を訪問することで、案件に対する要件だけでなく、オフィス

やど会社の雰囲気やデザインに落とし込める。パーティションの色一つでも参考になるという。

クライアントの要望・展示するものをリスト化し、平面図に配置する。そこから手書きで3Dに“立ち上げる”ことで、手塚さんのデザインは動きはじめる。どんな装飾がいいか、動線に問題はないか、何度もアイデアを加え、削り、検証して書き直し、平面図にも反映させる。その繰り返しでブラッシュアップ、新しいアイデアが生まれることもある。

顧客の要望すべてに答えたいという思い、他と被らないような独自性も出す。予算重視の案件では西尾レントオールのレンタル部材を中心に構成するなど、制作費削減効果のあるデザインも提案する。手塚さんが生む空間はさまざまなアイデアと意思の集合体だ。

JSS
24HOURS/365DAYS

JSSは
施設警備
航空保安警備
イベント警備
身辺警備
交通誘導
保安警備の
プロフェッショナルです。

そこには笑顔がある
株式会社 JSS
TEL 0120-277-179

03-5806-4071
東京 神奈川 千葉 大阪 宮城 info@j-ss.jp

主催者向け イベント管理システム

アドバルコネクト AddVal Connect

商談機会増加
事務局負担軽減

利用者様のご要望に応じて
続々新機能追加
アップデート中!

イベントの未来を科学する
tohgashi

<https://www.tohgashi.co.jp> トーガシ 検索

事例2

優先順位を整理し 来場者の視点をデザイン

「第9回ワールドデンタルショー 2023」 有限会社エルパブス(施工:トーガシ)

すでに接点のある出展担当で共通認識があっても、出展目的や要望、課題のヒアリングは念入りに行う。トーガシの大橋了子さんがつくる空間では、レイアウト、グラフィック、動線、照明など様々な手法で、情報の優先順位を整理するからだ。観る人は無意識に道しるべに沿って進む。

照明の使い方には多くの意図が隠されている。ブース全体を照らして明るい雰囲気を出さず、注目するポイントにスポットをあてたり、テーブルや足元を照らして雰囲気をつくったり、電照パネルや内照式の壁面、引出しにも照明を設置することもある。

ワールドデンタルショーに出展した有限会社エルパのブースでは、引出しが演出のカギの1つになっている。展示している商品とは別

に、引出しを引く際に「なにがあるのだろう」と期待感を醸成したり、来場者とのコミュニケーションのタイミングをつくる役割だ。隠したものを出すことで、来場者の関心を別のステージに移す。そこをしっかりとみせるために、商談用のハイテーブルの高さを通常より高くするという工夫もしている。

ブースが斜めに建てられているのも、来場者が歩く際の日線にあわせてのことで、面積の利用効率は正面使いに比べて落ちるかもしれないが、回遊性を担保し出展者と来場者の交流を促す。床面を白一色のシンプルにして、上部からの照明を反射させブース全体を発光させたり、グラフィックを壁面に絞って目線を誘導することは、来場者の視点をデザインするための。



株式会社トーガシ
クリエイティブ・デザイン部
マネージャー
大橋 了子さん

事例3

内照式ファブリックの新商品など 手札を集めて多様な案件に対応

「JAPAN SHOP 2024」ボックス・ワンブース



株式会社ボックス・ワン
企画課・デザイナー
伊藤 賢治さん

「得意なデザインというのは難しい質問」とボックス・ワンの伊藤賢治さんは話す。展示会ブースの最適解はデザイナー起点ではなく、クライアントのブランド戦略や押し出したい商品などによって変わる。展示会のデザインには万能薬はなく、さまざま手札を用意し、案件にマッチするものを選択する。

手持ちのカードを増やし、磨くために伊藤さんは、多くの展示会場に通い新しい見せ方を探すだけでなく、最新のオフィスビルや商業施設などの建築デザインを注視している。近年の傾向は、素材の質感を活かした外装や装飾が増えていることだという。

展示会の装飾でも集成材や無垢の木材を使うことも見かけるが、多くが木材に経師紙を貼る加工が一般的。そうすると細かい木目の

跡や釘が透けてしまうこともある。パテ埋めなどで処理することもできるが、施工期間、会期の短い展示会では、そこまでは難しい。

そこで伊藤さんがよく利用するのが内照式のファブリックでの壁面づくりだ。大型印刷機が普及したことで、より使い勝手が良くなっている。細かい造形はできないが、内側から照らすことで、図柄を鮮やかに表現できるうえ、スポットライトが不要で壁面がすっきりする。

新商品のオクタクルスはシステムのフレームにLEDを搭載し発光、発色は1680万色から選べる。JAPAN SHOP2024のボックス・ワンの出展ブースにはオクタクルスも出品される。どのような演出ができるか、伊藤さんの新しい手札に注目だ。

「ブースづくり」に「本気」な会社。
株式会社ボックス・ワン
<https://box1.co.jp>

EXHIBITION FILTER
Box.1

イベントの成果を 最大化する

イベント・アーカイブス



- 取材
- 記事作成
- 写真撮影
- 動画撮影
- ニュース配信

イベント専門出版社の取材力と発信力、撮影・編集のプロフェッショナルとのネットワークを活かし、自社セミナー、新商品発表会、展示会出展などの、プロモーションの様子を再編集し、アーカイブ・編集することで、イベントの出展効果を最大化できます。

イベント・アーカイブスについてのお問合せは

株式会社 MICE 研究所

〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABC ビル 5F
TEL 03-6721-5303 / info@event-marketing.co.jp
<https://www.event-marketing.co.jp>

新サービス >>> カウントをAIが実施「coumera」



通行量/入店数/滞在数・滞在時間/顔向き視認数をAIカメラでカウントする「coumera(クーメラ)」

「新たな KPI を取得できる」として、昨年 12 月に店舗・イベント向けにパッケージメニュー化してリリースしたところ、問合せや導入事例を増やしているのが AI カメラによる入店計測や店舗分析を簡単にした「coumera(クーメラ)」だ。

株式会社 GRooVE の阪本治彦さん(DX 事業部 取締役本部長)は、「展示会の出展者さんの場合は、これまでも名刺獲得数や QR コードの読み取り数を取得し KPI としています。でも実際にブース前に何人通ったうちの名刺数なのかは曖昧でした」とし、ブース前交通量を分母とした時の名刺数という相対的な KPI を提案できることが、導入に至っている理由の一つだと話す。

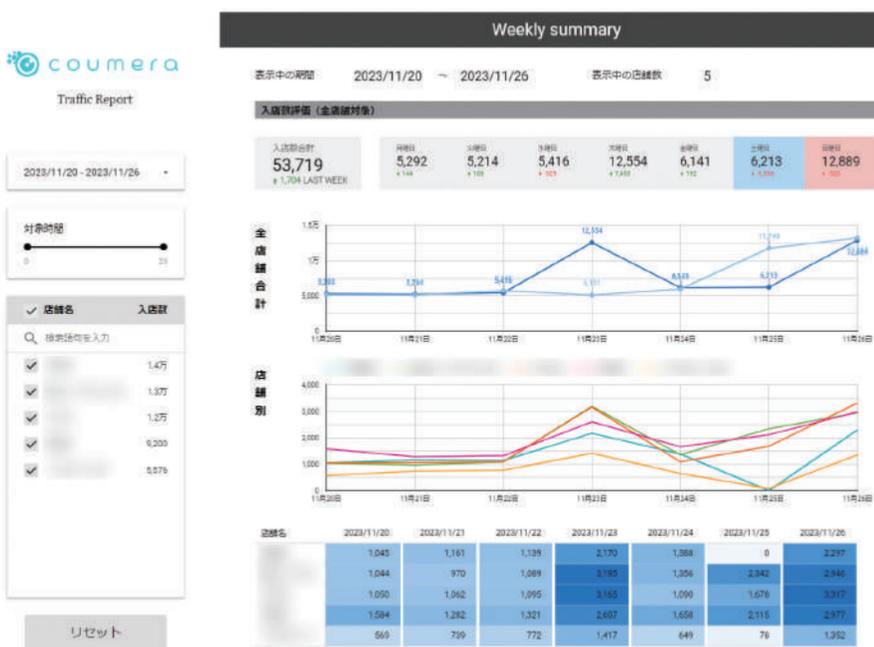
また、これまで全体来場者数だけで判断し

ていたイベントの価値判断も、ブース前交通量を測ることでイベント自体のポテンシャルとして把握することもできる。

「coumera」では①通行量のほか、②入店数 ③滞在数・滞在時間、④顔向き視認数の4指標を AI カメラでカウントする。

こうした AI カメラによる人流計測に競合サービスは少なくないが、「coumera」の場合、1 週間単位でのレンタル・低コスト・初期費用なしという点で導入ハードルが下がっているようだ。

導入の検討先は出展企業だけでなく、ブースデザイン・施工を行う企業からも問合せが多いという。イベントにおけるデータ分析のニーズについて、解像度の高さと AI 活用による効率化の傾向がみえてくる。



「coumera」のダッシュボードサンプル画面

人材育成 >>> 展示会デザイナーになる 基礎知識

独立を目指すなら… 「お客さんのことを考える姿勢と覚悟を」



▼セミナー情報
https://www.superpenguin.jp/seminar/index.html



竹村 尚久さん

SUPER PENGUIN株式会社 代表取締役
展示会デザイナー/一級建築士

展示会デザイナーとして、展示会のブースデザインのみにとどまらず、「出展者を成功に導く、集客のアドバイスができる存在を目指してほしい」と、独立を志すデザイナーを惜しみなく後押しする SUPER PENGUIN 株式会社代表(以下、SUPER PENGUIN)の竹村尚久さん。

「展示会デザイナーになる基礎知識」として、独立して依頼を受けるデザイナーになるための、竹村さんならではの心得から実践に至るまで、SUPER PENGUIN で現在進行形で実行している内容の一部を紹介してもらった。

展示会デザイナーになる心得と素養

心得において、最も大事なことの筆頭に挙げたのは「お客さんのことを考える気持ち」、つまり姿勢についてだ。よく言われることかもしれないが、実際にはデザイナーの自立性と、どれだけ時間を費やす覚悟があるのかを問われる。空間構造や動線設計といったブースのデザインばかりではなく、展示の陳列、キャプションポップ、キャッチコピーと解説の言葉選びまで細部に渡る。

竹村さんは、こうした姿勢を保つには必要な素養があるとして、「勉強好き」であること、さまざまな商品・サービスを自発的に知ろうとする「好奇心」「勉強力」の重要さと、楽しんで学ぼうとする意識として「前向きさ」も加える。

ブースデザイナーの中でも独立して第三者的に助言できる存在を「展示会デザイナー」と呼んで区別し、育成したいと話す。

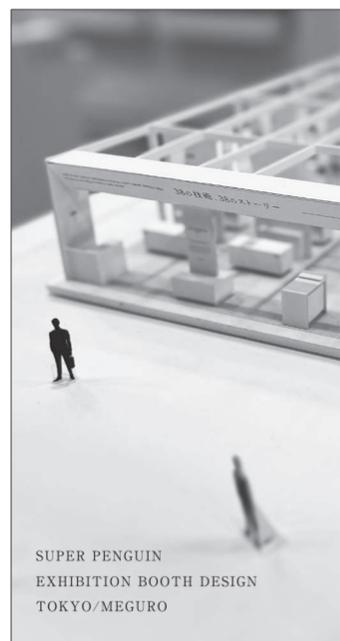
トレーニング

SUPER PENGUIN では、デザイナーは小さな案件から実地を踏んでいき、最終的には様々なサイズのブースを任せよう段階を経ていく。その第一歩が「グラフィックデザイン能力を鍛える」こと。展示会ブースにおけるグラフィックとは、パンフレットやチラシの2次元とは異なり、空間における3次元となる。壁面に言葉を設置する場合、その言葉を会場内の「どの位置」から読ませたいのか、それを踏まえた文字のサイズ、見せ方にする必要がある。違いを理解した上で、デザインの検討を行う。

2つめは、前述した「お客さんのことを考える気持ち」をつくる指導として、現場を全部みせるようにしているという。実際にどう見られているのか、肝心な点は最終日の撤去時にブースにいて出展者さんが喜んでる表情を見せることだと言う。竹村さんが独立し始めた頃には、ブース前で1時間ひたすら見続け、図面を片手に気づいたことを書き留めていたそうだ。そのメモが貯まったものが本にもなった(『ビジネス空間デザイン』で考える集客できる展示会ブースづくり)。

3つめは、竹村さんと出展者との打合せに同行し、どう成功に向けてコンサルテーションするか、その表現方法やロジックを実際に体験してもらうことだ。

展示会業界でのデザイナーの地位向上も目指し、成功をデザインするデザイナー育成も構想する。デザイナー向けのキャリアデザインセミナーも5月以降予定している。



SUPER PENGUIN
EXHIBITION BOOTH DESIGN
TOKYO/MEGURO

なぜ、ペンギンは、出展社との関係性がとてもいいのか？

当社を知る業界関係者の方は、当社と出展社さんとの関係を見て、「お客さんとの関係性が当社と全く違う」と言われます。たしかに、当社はお客さんとの関係がとてもよい、と思います。それは、常に全力でお客さんの成功を考え、プロとしての意見を伝え、提案を行っているから。単によりデザインをしたいのではなく、ただ業務をこなしているからではなく、お客さんと楽しみながらブースの計画を行う。建前だけじゃない。本気でお客さんのことを考える。それがスーパーペンギンです。

迎。お客様が喜ぶ姿をいつもみている。そんな仲間を募集しています。

- 展示会デザイナー / 2名
- 勤務場所 / 当社事務所 (目黒駅前)
- 勤務時間 / 10:00 ~ 18:00 (残業有)
- 土日はほぼ休み (展示会の場合は代休に)
- 残業代全額支給
- 時短勤務希望は応相談

ペンギンの仲間、募集中。

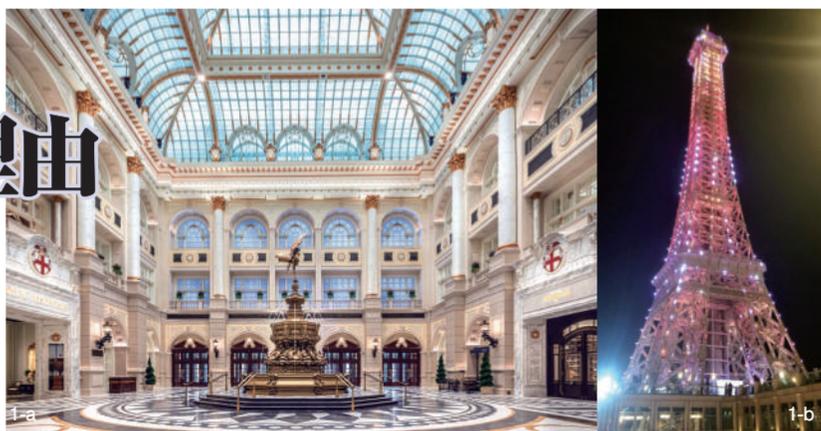
詳しくはホームページへ

SUPER PENGUIN 株式会社
東京都品川区上大崎 3-10-50 SEED 花房山 405
www.superpenguin.jp



マカオ MICE が 選ばれる 5つの理由

ファミトリップレポート ー後編ー



非日常感

1-a : Crystal Palace, 1/F, The Londoner Macao

1-b : Eiffel Tower Observatory Deck, 7/F, The Parisian Macao

10月30日～11月3日、サンズ・チャイナ（金沙島中国有限公司）は、中国のマカオ特別行政区にて「Sands Lifestyle #ReDiscover Macao 2023」ファミトリップを開催した。“マカオ MICE が選ばれる5つの理由”として前編ではマカオ MICE の開発モデルや MICE フォーラムの様子をレポートしたが、後編ではファミトリップで体験したパーティ会場事例や文化体験を紹介する。（取材・文＝酒井統史）

1：非日常感

Crystal Palace, 1/F, The Londoner

ロンドンをモチーフとしたコンセプトにより、文化的な建築物を忠実に再現。隣にはパリやイタリアをモチーフとした施設もあり、壮大な建築の力を感じながら世界旅行の気分が味わえる。（写真 1-a）

Eiffel Tower Observatory Deck, 7/F, The Parisian Macao

ザパリジャン マカオのエッフェル塔の下がパーティー会場に設定されていた。マカオは温暖で屋外のパーティーが気持ち良い。エッフェル塔の上にも登ることができ、絶好の写真ポイントになっていた。（1-b）

2：ユニークベニュー

ショーケースディナー

ベネチアの豪華絢爛な柱廊を黒幕で仕切り、非日常的な空間を演出。中央のスペースを用い、魅惑的なファッションショーや演舞が披露された。（2-a）

London Jubilee - The Gala Celebration

ニューオープンしたロンドナーアリーナを LED パネルで四角く区切

り、360度映像に囲まれたステージが披露された。パーティが終了したあとは、LED パネルがゆっくと上がり、隣のアフターパーティー用 DJ スペースが出現した。（2-b）

Chef's Challenge

4 チームが相談しながらお題（今回はサーモン）の一皿を作るチームビルディングイベント。シェフでもある司会者のトークで、あっという間の45分が過ぎる。（2-c）

チームラボ スーパー ネイチャー マカオでのヨガセッション

ヨガセッションは写真不可であったため、写真は入り口の画像。チームラボのトリップするような空間でのヨガセッションは、別世界に投げ出されたような体験となった。（2-d）

3：食

世界の料理とポルトガル料理店 Portvgália

ホテル内には様々なレストランが入っており、中華、和食、フランス料理、アジアなど、世界中の美食を楽しむことができる。そのほかにも、ホテルの周りや市街には大小多彩な料理店があり、今回はポルトガル料理の店を利用させて頂いた。この Portvgália はもともと、1925年にリスボンにオープンした老舗で、マカオ店はコロナ禍を乗り越えつ

越し、新しい店舗で営業している。旧ポルトガル領のマカオとしての本格かつ伝統的なポルトガル料理が楽しめる。（3）

4：文化体験



文化体験

4-a：街探索で食べ歩きを堪能

4-b：ハートオブハウス：フラワーマスタークラス

4-c：オリジナルのお香づくり体験

美食の街マカオ 一地元マカオ人のように味わう

マカオは街歩きが楽しい街だ。狭い路地の中に、食べ歩きできるお店がたくさんあり、今回はサンズのスタッフがおすすめのお店を案内してくれた。お店の歴史や商品、それにまつわる文化的な知見などを聞くと、マカオとそこに住む人々を深く知る

食

3：世界中の料理とポルトガル料理店 Portvgália



ことができる。（4-a）

ハートオブハウス： フラワーマスタークラス

コンラッドのクラブフロアで開かれたフラワーアレンジメント講座。ホテルのフラワー部門の担当者が教えてくれる。作成したアレンジメントは、そのまま階下のホテルレセプションに飾られるというサプライズがあり、写真映えする得難い体験となった。（4-b）

お香ワークショップ @ Veng Lei Lab

マカオでは毎日のお祈りなどでお香が身近なものだ。そのお香を、自分の好きな調合で香りを仕上げていく。お香を構成する素材がどのようなものがあり、組み合わせることによってどのように香りが構成されていくのかを知ることができる。参加者ごとに全く違うお香が出来上がる。（4-c）

5：良好なアクセス

マカオは香港国際空港から橋で繋がっており、空港から直接バスでマカオに入国することができる。バスは電気自動車メーカー BYD の電動バスだ。

また、マカオから香港への出国時には、入国管理ビルに航空会社のカウンターが設置され、チェックイン・荷物の預け入れが可能となっていた。また、マカオ空港の成田-マカオ便、関西-マカオ便も利用でき、そちらだとホテルからも離陸する飛行機が見えるほどの距離だ。

今回のファミトリップでは、サンズのスタッフ全力での特別な体験を感じることが出来た。担当者に聞いてみたが、これらのプログラムのほとんどは、まだメニュー化されていないとのことだ。テーラーメイド対応であるため予算次第となるかもしれないが、これらのアイデアをインセンティブツアーなどのカスタムプログラムとして組み込んでみてはいかがだろうか。



良好なアクセス

5：香港国際空港からマカオはバスで



2-a



2-b



2-c



2-d

ユニークベニュー

2-a：ショーケースディナー

2-b：London Jubilee - The Gala Celebration

2-c：Chef's Challenge

2-d：チームラボ スーパー ネイチャー マカオでのヨガセッション



特別企画

産業の付加価値を向上させる 展示会高度化

～社長就任、社名変更、本社移転を経たいま～

田中 岳志さん RX Japan 株式会社 代表取締役社長

2019年に10月代表取締役社長に就任、2021年7月RX Japanに社名変更、昨年4月1日に東京ミッドタウン八重洲へ本社移転。3年半の間に、創業以来続いてきたものを大きく変えてきたRX Japan 田中岳志さんに、同社が進む新たな道と展示会産業の展望をうかがった。



自由な発想活かす組織と そのためのリブランド

学生のころは野球部の副キャプテンを務めたり、会社に入ってから現場責任者として経営者を支えたりと、前面に立ってみんなを牽引するよりも、サポート役の方が自分の性格にあっているのかもしれない。

リードエグジビジョンジャパンの代表取締役社長の任を引き継ぎましたが、創業から30年以上にわたり強力なリーダーシップで牽引してきた前社長石積（忠夫氏）とは違い、ボ

トムアップ型で自分なりのマネジメントを行っています。私が「こうしなさい」と言って、1つの方向性に全員が進むのではなく、一人ひとりが自分の責任において自由に考えて行動してもらおう。私は「こんな未来を作ろう」とビジョンを提示するくらいという感じですね。

社員の能力や志の高さが最大の価値だと、以前から考えていましたので、人の力を最大に活かせる組織づくりをしています。そのためのリブランドとして、社名変更やロゴの刷新、本社移転を行いました。

展示会は最高の仕事 働く環境を究める

そこで働いていることを誇りに思えるオフィスを探す。社長就任後に真っ先に取り組んだのは、日本でもっとも注目されている東京ミッドタウン八重洲を新しい本拠地とすることです。最高のオフィスにこだわったのは、社員のモチベーション向上だけでなく、展示会産業全体のステータス向上も考えたため。優秀な学生に展示会産業で働いて欲しい、同じビルに居を構える商社や製造業など他

業界の大手企業と比肩できる企業・業界であることを自他ともに認めることが、展示会産業の発展につながると考えています。

約300人のスタッフがゆったりワンフロアで働ける広さのなかに、パーティションがなく社長室も設置せず、くの字型の執務スペースの頂点にたてば、オフィス全体が見わたせます。どこに誰がいるのかわかり、気軽に声をかけたり、話かけられやすい雰囲気になりました。ここで生まれる自由なアイデアが、ビジネスの資源になっています。

自由と責任が両立する企業文化をつくるには「今日からこうします」と号令しても進みません。環境づくりと信頼関係の構築でいつの間にかそうなっているものなのでしょう。

一生懸命やった結果のミスを許容し積極的な試みを奨励する評価制度や、在宅ワークの推進、リスクリングなど、ソフト面でも働きやすい環境をつくってきました。

服装の変化は皆さんにもわかりやすいのではないのでしょうか。業界内で当社のスタッフはスーツとネクタイ着用というイメージが強かったと思いますが、現在は私も含めだいたいカジュアルな装いをしています。

集客力や産業界へ貢献してきた実績などが当社の強みですが、過去の成功体験が成長を阻むところもあると考え、新しい変革を進めてきました。

豊富なデータ活用し 展示会の高度化を進める

感染症拡大の時期を乗り越えて、2022年の売上は2019年の水準に達し、昨年には大きく業績を伸ばし、10年間の中期計画であげた売上倍増の目標を前倒しに実現できそうです。創業からの成長速度を大きく向上しており、継続的な成長の道筋も見えてきました。しかし、展示会の開催規模を増やして、売上を向上するという繰り返しは、経営者として私が求められているものではないと考え

ています。展示会会社の売上は1小間約9㎡が30万円から50万円台で、出展規模の増加に売上が比例しています。

この公式は展示会産業黎明の時期から数十年変わっていません。これが果たして、展示会ビジネスのあるべき姿なのかは疑問です。会場では多くの企業と企業および個人が商談をして、企業の発展と産業界の振興につながる。私たちの仕事、提供している価値はそういうものです。

出展料が展示面積の対価でなく、出展者の営業・販促の費用と考えれば、展示会の付加価値を向上して、出展料金を高くするのも1つの方向性ではないでしょうか？単価をあげ私どもの収益性を向上させるのではなく、出展企業のマーケティング活動や売上向上により貢献できる仕組みをつくるWin-Winな考えです。

その提供できる付加価値はデータだと考えております。展示会場でブースを訪れた来場者と名刺交換しリードを獲得、売上につながる商談をする、といったことに加えて、展示会ではもっと多くのマーケティングデータを獲得できるはず。すべての来場者のデータを保有しているだけでなく、来場者の行動解析やアンケートなど、取得・解析できるデータは豊富にあります。デジタルマーケティングで得ている情報は私たちでも提供できるはず。そのことによって、さらに多くの企業のビジネスに貢献したい。

どのようなデータをどう活用するか、サービス展開の形は私が説明するより、マーケティング担当者に説明してもらうのが適任ですので、次号の記事もお読みください。

この展示会高度化は、当社だけでなくほかの展示会会社にも取り組んでいただきたいです。展示会産業が新たなステージに行く時機と捉えて、個々の力を活かし挑戦できる新しい社風に生まれ変わった当社が、まず一歩を踏み出します。

● ●

博覧会・展示会の企画に参画させて下さい。

お問い合わせは、下記事業所へ

IIDA

飯田電機工業株式会社

<https://iidae.jp>

- イベント事業本部 〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-21 TEL 03(3521)-3522 FAX 03(3521)3524
- 千葉事業所 〒261-0025 千葉県美浜区浜田2-38 専務ビル101号 TEL 043(273)2441 FAX 043(273)2531
- 池袋サンシャイン事業所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館3F TEL 03(3982)-9551 FAX 03(3982)9564
- 大阪事業所 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル TEL 06(6543)2880 FAX 06(6543)2884
- 本社事業本部 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 表参道IIDAビル3F TEL 03(3409)3333 FAX 03(3409)0104
- 本社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-7 TEL 03(3409)3331 FAX 03(3409)3827

● ●

● ●

70

100%

処理能力 電力

需要

B

今年も多くの展示会が開催されるね。

“お陰様で70周年”

RX Japanさんの展示会も電力設計と施工で、成功に貢献します。

株式会社 鈴木電機

〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201 (代) FAX 03(3845)3040
URL: <http://www.suzukidenki.co.jp>

● ●

ギネス世界記録™ に認定

— TOKYO Night & Light

都庁第一本庁舎をキャンバスに、プロジェクションマッピング（以下PM）「TOKYO Night & Light」の上映が2月25日から開始。初日オープニングイベントでは、主催者の小池百合子都知事の挨拶のほか、アーティスト Aimer によるライブパフォーマンスとコラボしたPMをはじめ、様々な光と音の演出が行われた。また、この取組は「最大の建築物へのプロジェクションマッピングの展示（常設）:Largest architectural projection-mapped display (permanent)」としてギネス世界記録（投影面積：13,904.956m²）となっている。



TOKYO Night & Light
2月25日オープニングイベントを実施（Photo by 加藤アラタ）。
2月26日から4月末まで東京都庁第一本庁舎東側壁面にて上映。観覧は都民広場で19:00～21:00の間、00分/30分開始回を5回展開。土日祝日のみ、00分/30分開始回に異なるコンテンツが上映される。

5年ぶり開催、警備の仕事体験

—Tokyo Security Festival

一般社団法人東京都警備業協会は2月10日、アーバンドックららぽーと豊洲で、警備業PRイベント「Tokyo Security Festival 2024」を開催。買物客はじめ多数が来場し、キッズ警備服で撮影などを行った。イベントの警備を行う㈱JSSも参加し盛り上げた。



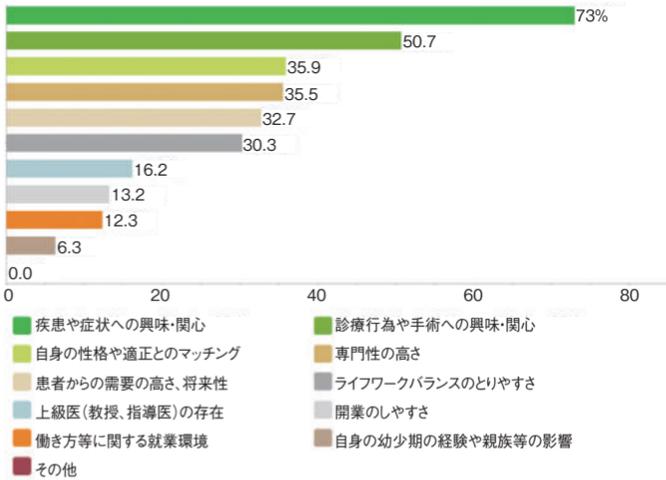
白バイやパトカーの試乗に行列も

<訂正とお詫び>

前号103号・5pの特集内「データから読む医学系学会『若手医師の学会所属等に関する意識調査』」の図1において、

タイトルと一部項目に誤表記がありました。正しいグラフは、下記となります。訂正して、お詫び申し上げます。

図1 専門とする診療科を選択した理由（複数回答可）



レポート

身体性感じるナビアプリがグランプリ

—TOKYO NODE “XR HACKATHON” powered by PLATEAU

2月10日、TOKYO NODE HALL（虎ノ門ヒルズステーションタワー 46階）およびYoutube Liveによるオンライン配信で「TOKYO NODE “XR HACKATHON” powered by PLATEAU」の最終審査会「AWARD NIGHT」が開催された。

森ビルと国土交通省の都市デジタルツイン実装プロジェクト「PLATEAU（プラトール）」が共催するXRをテーマにするハッカソンイベントで、2ヶ月半にわたって展開されていた。「エンターテインメント」「アート」「シミュレーションや可視化ツール」「虎ノ門エリア・施設の利便性向上のツール」など、作品のジャンルは問わず募集。「AWARD NIGHT」

では、参加応募数107名から審査を通過したファイナリスト16チームが自ら開発したアプリのプレゼンを行った。

グランプリを受賞したのは、チームLUDENSによる「TORANOMON bird's eye view」。虎ノ門ヒルズを身体性が感じられる場所にすることをコンセプトにしたアプリで、虎ノ門ヒルズの様々な場所やバーチャルコンテンツの場所をXRで表示し、目的地を見つけたら、スマホカメラの一人称視点からバーチャルカメラの俯瞰視点にシームレスに切り替えることで、自分と目的地の位置関係を直感的に知覚するというもの。

審査員を代表して、杉山央さん（森ビル株式会社 TOKYO NODE 運営

室）は「街づくりの視点としてナビゲートは課題の一つ。目的地に向かって点と点で移動していきながら、その間にあるコンテンツや街歩き楽しさを虎ノ門でつくっていきたく感じた」とコメントした。

最終審査会ではグランプリを含め、部門賞の3つと、急遽、審査員特別賞を加えた5チームが表彰された。（下表）



グランプリを受賞した「TORANOMON bird's eye view」のアプリ画面

●受賞作品一覧

| タイトル | チーム名 | 作品タイトル |
|-----------------------|-------------|---------------------------------|
| グランプリ | LUDENS | 「TORANOMON bird's eye view」 |
| 部門賞「Explorer Prize」 | SKiT | 「SKYscraper stage in Toranomon」 |
| 部門賞「Volumetric Prize」 | ばいそん | 「WaraWara」 |
| 部門賞「PLATEAU Prize」 | 虎ノ門ゴルフカントリー | 「ARプロゴルフ〜虎!」 |
| 審査員特別賞 | センサリーカメレオン | 「XR Sensory Map」 |

2023年度「国際会議誘致・開催貢献賞」が決定

—JNTO

日本政府観光局（JNTO）が、毎年、誘致活動や開催時における地域への貢献等の好事例となる国際会議に対し選定している「国際会議誘致・開催貢献賞」。2023年度は、「誘致の部」と「開催の部」で各3件、計6件の国際会議が選出された。（詳細は下表）

2月15日には東京国際フォーラムで表彰式が行われた。

受賞した会議では、地域・学会などの関係者との連携、若手育成、SDGsへの対応、円滑なハイブリッド開催など、他地域でも参考になる取り組みが評価された。



2023年度「国際会議誘致・国際貢献賞」を受賞した主催者

●「2023年度国際会議誘致・開催貢献賞」受賞一覧

| 会議名 | 開催年 | 開催地 | 参加者数 |
|-------------------------------|-------|--------|--------|
| 「誘致の部」受賞会議 | | | |
| 第29回 高圧力科学と技術に関する国際会議 | 2025年 | 愛媛県松山市 | |
| 2025年フォトニクス・電磁波工学研究に関するシンポジウム | 2025年 | 千葉県千葉市 | |
| 第16回アジア・オセアニア耳鼻咽喉科・頭頸部外科会議 | 2027年 | 京都府京都市 | |
| 「開催の部」受賞会議 | | | |
| 第29回国際高血圧学会 | 2022年 | 京都府京都市 | 2,638人 |
| 国際青年原子力会議 2022 | 2022年 | 福島県郡山市 | 300人 |
| 第22回国際栄養学会 | 2022年 | 東京都 | 3,734人 |

EVENT MARKETING

FREE PAPER

読者Profile

特集

イベントマーケティングのトレンドを国内外の事例や動向から分析し、マーケター・イベントターの皆さんと共有します。

国内・海外ニュース

ツールやテクノロジーの最新情報、開催直前概況・事後レポートなどを紹介します。

コラム

幅広い視野と独自の視点、経験をもつ著名人が執筆します。

インタビュー

リアルコミュニケーションを楽しくをテーマに話題の方々ほか、インバーター、イベントマーケター、主催者の声を収録。

調査・レポート

効果測定や開催状況の集計、効果最大化の手法など、face to faceを科学するレポートをお届けします。

大手メーカーマーケター

▶年間イベント件数：約20件
デジタルマーケティングとオフラインを組み合わせて販促とファンづくりに

**製薬会社
ミーティングプランナー**

▶年間イベント件数：100件超
業界のファーストムーバーとして異業種のトレンドを知り講演会に活かしたい

**IT企業向け
マーケティングサポーター**

▶年間イベント件数：約150件
イベントマーケティングに関わるテクノロジーやツールについて情報収集したい

毎月30日発行

定期送付申し込み

発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9
ABCビル 5F
TEL03-6721-5303
sofu@event-marketing.co.jp